



町議会報告

南雲議長が副会長に就任

県町村議議長会の役員改選

去る十月三十日新潟市の県自治会館で開催された県町村議議長会理事會において、南雲章川西町議長が同会の副会長に選出された。県町村議議長会の理事會は県下各



南雲議長

ことしの八月議員の任期満了により自然退職となっていたが、十月八日に行なわれた後任会長の互選により再び副会長に選出された。なお、副会長は、県町村職員退職手当組合の議員となることとなつては、南雲議長は県理事會に設けられている政務調査会の委員長も兼ねており、三魚沼の議長会においても地域発展のため積極的な役割りを果たしている等、その政治的手腕が期待されている。

郡の町村議長会の会長をもって構成されており、会長は西頸城郡青海町議長の渡辺丙一氏である。今回欠員中の副会長二名の補充を行なったところ、南雲川西町議長とともに中蒲原郡亀田町の藤田新坪議長が新たに副会長に選出されたもの。

南雲議長は、昭和三十八年十二月に郡町村議長会の会長に就任、

出稼ぎは職安を通して

出稼ぎの安全のために縁故の方も職安を通じて就職してください。役場、出版所の窓口には用意してあります。記入は簡単、職安まで出向く必要はありません。

出稼ぎ案内

一苗場国際スキー場 男女スキー 要員月男二万女一万三千、

防犯標語募集

一、趣旨 防犯思想普及のため  
二、募集標語内容  
最近の社会環境の複雑化により青少年の非行化や交通事故は激増しているが、これが発生防止につ

- 一、切十一月末 現場従業員 月二万
- 二、切十一月二十三日 月二万
- 三、山本組 横濱 月三万
- 四、野野建設 男土工西宮市 月三万
- 五、利井組 男土工 静岡 月二万八千
- 六、日本無機せん維工業 男ガラス 加工 月二万四千

白倉小学校 稲刈

中村 薫



私の家は七人家族だ。村でも多く家族ですが稲刈をする人は父と母と兄と私くらいで祖母と妹の二人は家のすばんをされている。田んぼは北山田とむこう山という所へある。北山田は北山のほうへあって家から三十分くらいかかるところだ。三年前はこううん機がなかったので、父や母はこはんや稲刈につかう道具などはそつていかなければならなかった。そのときは今より稲刈にか

かる日は十日くらいおそいと思う。稲刈は父が四そく、母と兄は三そく、私は二そくをします。私の家は父と母が稲刈をし、私と兄は稲刈をします。一日そつた稲をこんどはさくどうでこううん機のあるところまで運びます。さくどうのなかつたときは歩いて二十分くらいかかる急な坂をのぼつてそつていた。村の人たちは、だいたい田んぼの近くに小屋などをつくつて、そこでこはんをたべたりする。私の学校は稲刈休みが一週間くらいあります。稲刈は、九月の半ばごろがさかんです。そのときは一家でこはんをもって稲刈をする。一日の仕事が終わると

私は父や母に肩たたきをしてあげて、またつきの日は稲刈をする。稲刈をして休みのときは、田んぼの横の山へあがって、きのこなどをとつてあすの弁当のおかずなどにします。いま家は祖母がねているので、私はあまり山へ稲刈にいけません。家でそうじやせんたくなどをしているのでも早く祖母になおってもらつて、私も山へいきたいと思つています。私も山へいって父や母がびっくりするように稲刈をして私たちが小さいころ父と母で稲刈をして私たちが育ててくれたのでこんどは私たちが稲刈などをして休ませてあげようと思つています。

家族ぐるみの事故防止を

町 青少協

青少年の交通事故防止対策について、緊急に、十月二十三日青少年協會議が開かれた。

さる十月十二日夕刻、上野地内で起つた交通事故の痛ましさが終始會議の空気を圧していた中で、ことし川西町で発生した交通事故は前日までに二十四件、そのうち青少年の事故は十三件で半数を占めていたとの報告があり、青少年に多い無免許・暴走事故を防止する対策としては、

一、車の普及が時代の要求である限り、むしろ、青少年の生理的欲求にブレーキをかけることよりも積極的に免許を取得するよう指導するとともに交通法規を必ず守る

二、免許を取得するまでの練習に場所を与えずに取り締めても無理であるから、自由に練習できる広場が欲しい。これには学校や野球場などのグラウンドでは整備上困難なので町の荒地等を整理して簡単な練習場を町でつくってほしいこと。練習には有資格者に必ず同伴してもらい指導を受けること。練習場での事故も法令は適用される三、上野千手間の県道を舗装し、街灯を整備してもらいたい。ホコ

りと夜間のライトで、通学の中学生など常に危険にさらされているので早期実現を願いたい。四、青少年の問題はすなわちおとなの問題である。おとなの飲酒運転――暴走が青少年に下口をばねとばしている。とうどのあがり酒や宴会の帰宅など、酒を飲んだら運転しない。五、運転者に酒をのませない。このことを特に家庭婦人側の協力を得て全町の生活運動としたい。以上が話し合いの中でとりまとめられた問題である。

無免許 酒のみ運転は殺人の道 暴走

木島町が「明るい家庭づくり」重点指導地区指定

こども会のある木島地区がこのほど「明るい家庭づくり」重点指導地区に推せんされました。これは、青少年をばくちくみ育てていく最も大切な家庭をなごやかな愛情と信頼にみちたものにしよ

うという県民運動で、県下三十五郡市の拠点として木島地区が選ばれたものです。家庭での努力目標としては、毎月第三日曜日「家庭の日」としておとなもこどももいっしょになつて話しあい、理解しあい、協力しあつてゆこうというもので、各家庭で思い思いに工夫して、いつどこでもやっている日常の活動としてしようというものです。

### 秋山をたずねて

子どものころ、秋山の話に興味深く聞いたものだ。信越の秘郷でも通わぬ山奥、住民は無知、教育も受けず原始的な生活を営んでいるときかされてきた。その秋山郷を、つい最近はじめたずねることができたが、この目や耳でたしかめた秋山で、じつに驚くべきことをつきつきと知らされた。

秋山の中心は、大割野から中津川そいに約二十四キロ、戸数三百のうち信州秋山がその半数を占める。信州秋山は越後秋山のさらに奥、川一すじが県境だが、そこに住む人たちの考えかたや生活文化のちがいを、これほどハンキリと見せられたのははじめてであった。信州秋山では、越後はケタチが

ハツバの首がこたましていた。どの部落へ行っても、設備のととのった近代的な保育園が建てられていた。戸数わずか三十余戸の屋敷という部落は、幼児がたった六人しかいなかったが、そこには専任の、資格のある若い保育さんがおり、飯山から指導に来たという先主をかこんで、おかあさんたちといっしょにしつけの実際を学んでいた。

越後秋山もかなりすすんではいたが、信州と比較するとおくれがめだつた。このちがいはどこからきたのか、それを考えたとき、教育の偉大さを改めて感じないわけにはゆかなかつた。信州秋山に小学校が創立されたのは明治十三年のこと、村を発展させるには教育

以外にないという、先人たちのすぐれた考えであった。以来、愛郷心を育て、秋山を発展させるための徹底した教育が行なわれてきた。そのころ、越後秋山には、山の中の人間に教育は不要だという考えが支配していた。教育しても、利口になって村から出てゆくと思っていた。こうした考えから、昭和十二年まで義務教育免除の指定にあまっていた地域である。

いよいよ十一月十四日は新潟県知事選挙の投票日です。告示されてからすでに二十日、その選挙運動期間中、それぞれ個人演説会や選挙公報また新聞、テレビ等により、各候補者の政策、公約に対し、意中の人を検討中のことと思えます。

たが、政治に参与する意義は極めて大きいと思えます。殊にわれわれの毎日の生活が、国、県、町が行なう、教育、経済、住宅、道路、環境衛生、交通などの数多い行政とますます深いつながりをもっていることを考えると、日常において政治に強い関心をもつことは勿論であります。政治に参加する唯一の方法である選挙を通じて、棄

わが町もかつての秋山という岐路に立たされている。わが家の、部落の、町の未来をになう子どもたちに魂のはいった教育をすることのために、まずおとなが勉強し社会教育活動をもりたてていくことが、わたくしたちのたいせつなつとめであるような気がする。

## 十四日は知事選挙

満二十才に引下げられ、従来なかった婦人に始めて参政権が与えられ、男女平等の普通選挙制度が採用されてから二十周年に当る意義深い年に行なわれる県知事選挙は、明るく正しく、各候補者は掲げた

公約によって正々堂々と選挙戦を展開してもらいたいものであります。県内約一五〇万人の有権者が、選挙という具体的な手続きによつ

て政治に参与する意義は極めて大きいと思えます。殊にわれわれの毎日の生活が、国、県、町が行なう、教育、経済、住宅、道路、環境衛生、交通などの数多い行政とますます深いつながりをもっていることを考えると、日常において政治に強い関心をもつことは勿論であります。政治に参加する唯一の方法である選挙を通じて、棄

九月十五日現在でみなさんから提出していただいた有権者調査表によって、基本選挙人名簿が作られました。この名簿は公職選挙法の規定により十一月五日から十九日までの十五日間川西町役場で縦覧に供することになっております。もし脱漏や誤認があれば、この期間中に申し出て訂正してもらおうとができます。期が経過してからはそのような取扱いは認められません。

### 意義深い選挙の年のしめくくり 公約を検討して正しい投票を

権をしないこと、違反をしないこと、われわれの代表としてふさわしい新潟県知事を選ぶ勇氣と英知をもつて投票していただくことを切望いたします。

この名簿は十二月二十日に確定して、効力が発生し、その日以後

役場へ来られる機会等を利用してぜひ縦覧してください。

### 基本選挙人名簿を縦覧中

五日から十九日まで

| 投票区名   | 投票区間の部落名 | 投票の時刻        | 繰り上げし時間 |
|--------|----------|--------------|---------|
| 第十一投票区 | 室島・霧谷・藤沢 | 午前七時から午後五時まで | 一時間     |
| 第十二投票区 | 赤谷・岩瀬    | 午前七時から午後五時まで | 一時間     |
| 第十三投票区 | 大白倉・小白倉  | 午前七時から午後四時まで | 二時間     |
| 第十四投票区 | 小脇       | 午前七時から午後四時まで | 二時間     |
| 第十五投票区 | 高倉       | 午前七時から午後四時まで | 二時間     |
| 第十六投票区 | 桐山       | 午前七時から午後四時まで | 二時間     |
| 第十七投票区 | 大倉       | 午前七時から午後四時まで | 二時間     |

川西町選挙管理委員会

十一月十四日執行の新潟県知事の投票時間繰り上げについてお知らせ

仙田地区の投票時間を次のとおり繰り上げましたから、間違いないように投票してください。  
千手・上野・橋地区及び中仙田・田戸・越ヶ沢は午前七時から、午後六時までです。

### 福祉年金受給権者の皆さんへ

十月一日をもって公的年金給が改定になりました。老令、母子、障害福祉年金を受給している人で、公的年金(遺族年金、公務扶助料、恩給等)を受けている人は、郵便局で新しい公的年金証書を受け取ったら、公的年金、福祉年金の併給調整事務を行なう必要がありますので、その新しい証書と国民年金証書および国民年金証書専用印鑑を持参して川西町役場社会係までおいでください。

### 千手陣屋のこと(つづき)

その頃江戸へ上るなどというこ  
とは大変なことであり、また、地  
元の代官を差し置いて、直接に訴  
えることなどは厳しく禁じられて  
いた。

しかし、陣屋設置をあくまで遂  
げようとする川西村々では、命が  
けを承知で代表を江戸へ送った。  
宝永元年(一七〇四)のことであ  
る。

ところが、これはまたどうした  
ことなのか、千手陣屋設置はま  
とにアッサリと許可された。命が  
けの意気込みは、喜んでとびあが  
るといふより、むしろ拍子抜けし  
てしまったようである。

これを耳にした川東側では、も  
ちろん黙っていない。とんでもないことだと  
大急ぎで重ねての反対陳情  
にかかった。

「千手新田の者が先般江戸まで  
出かけて参りまして、御代官様  
にどのような勝手なことを申し  
あげたかは分りませんが、この  
程新陣屋設備のお許しをいただ  
いて帰ったとのことでございます  
す。また、それだけなく、川  
東村々より新陣屋設置について  
一切差出入口など申してはならぬ  
との証文まで一通頂戴して、い  
よいよ着手するということにな  
りました。まったく全く、私ど  
も百姓にとりましては迷惑千萬  
でございます。」  
このように、皮肉タツブリの言  
い方をすると同時に、一方では絶  
対に承諾書に捺印しないことを決  
議した。

言えはこう言い、こう言えはあ  
言うといった様子になると、何の  
方策を持たぬ役人ではどうにも解  
決できなくなってしまうのは、昔  
も今も変わらない。馬場新右衛門  
代官も十日町陣屋の手代も、また  
裁判を下すべき江戸の役人も途方  
にくれてしまった。

ところが、川西側も、ところが  
であるが、いつの時代にも横車を  
押しつたり無理矢理に仕事を進めよ  
うとする実力行使派があるもので  
一新陣屋設備がいつまでたっても  
婿があかす、ぐすぐすと決定が延  
引してしまいましたので、設置願  
いを出した者どもが、暮にわか  
に雪を掘り割って新陣屋をつくっ  
てしまいました」との事態を招い  
てしまった。

### 資料でみる町の歴史

「こんなことを許しておくので  
は、無理が通れば道理が引っこ  
むと同じことじゃございませぬ  
か。妻有郷のおさまりなどは何  
時になっても出来つゝありませ  
ん。」

川東側も直接江戸へ出て、火の  
ついたような意見書が出された。  
公儀からは、一イイヤ、そう  
いような言ひ方をするもんじゃ  
ない。本場に陣屋を造つていな  
いと言つたのでなく、現地の手代  
共へ、妻有組の村々の中で川西へ  
陣屋を置くとしたら都合のよいと  
ころ悪いところはどこかを調べて  
みると言つただけなんだ」と、分  
つたような分らぬような回答で、  
止むなく川東側代表は正月六日に

帰郷した。暮から正月にかけての  
出来ごとで、三國峠は雪も深かつ  
ただろうし、たいへんなことであ  
つた。

その後も同じように公儀からは  
何ひとつハッキリした裁定がなく  
数度の陳情合戦が繰り返された  
ようやく五月十七日に関係奉行の  
手で直接の取調べとなり、七月に  
双方共帰郷、八月に代官の实地検  
証があつて、川浦陣屋で一応の決  
着が申し渡された。千手に陣屋  
を置くことを望むならば設置を許  
可する。しかし、十日町陣屋につ  
いての諸掛りは妻有村々全部で差  
し出し、千手陣屋の掛りは川西だ  
けで賄うように」ということであ  
つた。

### 辺地診療の医師の悲しさ

八王子市 合田 速志

三人の医師がつきつきにやめた  
無医村に、やっと新しい医師がみ  
つかった。という記事を先日読ん  
で、同じような辺地の診療所に勤  
務する医師として考えさせられた  
。：(中略)：：着任して間もな  
く、急性肺炎の患者が一命をとり  
とめた時に、診療所なんかに入院  
してよく助かったというわきが  
流れた。遠く離れた村に往診して  
容体をきけば、新しい医師が来た  
から試しにかかってみたという患  
者。夜中に高熱だというので往診  
したのに、翌日くすりもとりによ  
ず、それっきり患者。不可思議  
なことだらけである。

遠路いとわづ往診することだけ  
が、また応急処置をするだけが準  
辺地診療所の医師に課せられた任  
務なのか。医師はだれでも自分が  
診察した患者がどうなつたかに強  
い関心がある。たしかに辺地診療  
所の医師は交代がはげしいので任  
民たちの不信は根強い。しかし、  
まだ浅い経験だが、医師が離村し  
ていく原因を、そこに見たような  
気がするのだが。(医師 33才)



総工費千四百九十万円て建築さ  
れた川西中学校特別教室がりっぱ  
に竣功した。(上の写真)  
この財源の一部町債七百三十万  
円は、簡易生命保険を郵便年金の  
積立資金のうちから融資されるこ  
とになった。

赤い出しは十一月十日から  
「お生玉つき年賀はがき」  
ことしのお年玉つき年賀はがき  
は、十一月十日から売り出します  
昨年より二日早くになりました。

※ 新採用 (十一月一日付)  
関口靖夫 総務課庶務係

※ 岩瀬 金子 胡月  
丹楓の一葉一葉が目にありぬ  
銀香黄葉はらはらコラス校舎よ  
り  
寺尾 白井 トヨ  
夜任事の針になします幾婦の手  
草の美を髪にとどめて新負女  
寺尾 白井 スミイ  
サルビヤの燃えたち朝の冷やかに  
木島 数藤 ひさほ  
段丘の下にひるがる里の秋  
伊友 黒島 志げ  
連山の紅葉はるかに豆打ちめ  
大倉 金子 洋石  
新市区の土蔵の多し柿紅葉  
小倉 江口 凡石  
さびて行く紅葉に強き夕時雨

(国保衛生課長)